

令和5年度 能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業 認定事業一覧

申込者	山内 健斗	のしろやまもとらべる白神物語 代表 加藤貞二	
事業名	のしろいち3x3イベント (試合・フリースローチャレンジ)	NOSHIRO BASKET応援うちわスタンプラリー	
事業内容	<p>昨年同様、モルテンコートを展開して、3人制バスケのイベントを行う。 時期：10月29日(日)開催 場所：畠町大通り 【試合】ピックアップゲーム方式 ・参加者内で、その場でチームを分け試合を行う事 募集人数：男女4チームずつ(1チーム4人か5人) 参加料金：一人1,000円 賞品あり：優勝(4人×2チーム)、準優勝(4人×2チーム) MVP(1人ずつ) 【フリースローチャレンジ】 対象：全来場者対象 参加料金なし、景品あり</p>	<p>NOSHIRO BASKETの応援うちわを作成、能代市観光協会、能代バスケミュージアム、のしろやまもとらべる白神物語にて販売、能代の観光地、お土産屋、飲食施設に背番号のスタンプを設置、各店舗を訪問するとスタンプがもらえるしくみ、スタンプラリー参加者に能代の各施設を訪問し、知ってもらう機会とする。令和6年2月末まで、うちわの販売1,000枚内500枚分がスタンプラリーの達成を見込む、スラムダンクの聖地巡礼に関しては、映画公開が終了後も、海外からのファンが能代を訪問する可能性があり、来年度以降も継続の施策として考える。</p>	
無償スタッフ活動時間	100時間	120時間	
補助申込金額	100千円	100千円	
審査会の評価点	3.38点	3.54点	
認定の可否	可	可	
認定に付す条件			
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースローチャレンジを通して、バスケを身近に感じてもらえる機会なので、そのための周知をしっかりと行ってほしい。 ・大会形式だと参加者を引き付ける工夫が必要。 ・勝ち負けだけではない楽しさを提供するような、参加ハードルを下げるような働きかけがあるといい。 ・周知方法に不安がある、工夫が必要。 ・大会運営について、考慮不足が見られる。 ・昨年の事業と比べ、より多くの対象が参加できる形になっており、試合方法にも工夫が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時期は少し外れてしまいそうだが、身近でできる良い取組だと思う。 ・能代カップのうちわのように現地でしか手に入れられないプレミア感のあるものを参考に、差別化やシリーズ化といった部分も考えられ、今後絵柄付きの作成など展開が色々できそう。 ・バスケの街のロゴマークも使用してほしい。 ・どこを巡ってほしいか明確ではなかった。 ・来年以降も継続できると思う。 ・スタンプラリーとしては事業スキームが弱い。 ・アドオン要素が強い。 	

